

10月の振り返り

後期授業観察が始まりました。12月までかけて行います。職員全員の授業を管理職が参観して、その後で授業者と振り返ります。この時、生徒の様子も同時に見ることができます。生徒たちは校長、副校長、教頭から教室の中で見られていると思うと気をを使うようです。いつもは授業中に発言をしたり、先生と会話をしたりと活発にしている生徒の言動が見られなようです。ここは「自然体で遠慮なく」と思うところです。そんな中、校長がいるのを知りつつ寝ている生徒…。席が近い友達や私から声掛けをするなどして、起こします。その時のクラスの雰囲気はニヤニヤといった感じでしょうか。クラスの仲間と先生で作りに上げてきた空気感を感じます。当然、私も一教員として授業やクラス担任をしていましたので遠慮せず。

私は校長職に就く前の教員として過ごしていた時、生徒から「野中先生は寝ている生徒を起こす、内職していると注意する、指名して答えさせる先生だね」と言われていました。魅力ある授業をするように授業準備はしていましたが、恥ずかしい話です。ではこのように私のことを評価する生徒たちがどう考えていたのかと言うと、生徒たちは肯定的な感想を持っていました。大袈裟ですが、「真実に勝るものはない」と思いながら生きてきた私としてはホッとしたと言うのが素直な感想でした。

高校の学習指導要領が改訂されて、1年生から3年生全ての学年がこの学習指導要領の内容に基づき教育課程が編成され、授業も行われるようになりました。授業参観の際にはChromebook持参で「学習指導要領解説」と「『指導と評価の一体化』のための学習に関する参考資料」を読んで学ぶようにしています。

授業は教師の一丁目一番地です。引き続き学校全体で授業改善に取り組んで行きたいと思えます。

生徒の学校生活紹介



購買のパン🍞！

手作りがたくさん♪